

# 平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における塩草立葉小学校の結果分析と今後の取組について

大阪市立塩草立葉小学校

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年4月から7月末までの期間に、5年生を対象として「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1. 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）
  - (1) 子どもの体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
  - (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
  - (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

## 2. 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年の原則全児童
- ・塩草立葉小学校では、5年生 37名

## 3. 調査内容（児童に対する調査）

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）  
小学校調査では、以下の種目を実施する。8種目]

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、  
立ち幅とび、ソフトボール投げ

## イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童質問紙調査」）を実施。

# 平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

## 全体の概要

大阪市立塩草立葉小学校

児童数

37

## 平均値

※黄色は全国平均と大阪市平均をともに上回った種目。水色は大阪市平均のみを上回った種目。

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.67	18.56	24.83	39.11	49.94	9.53	156.22	21.28	49.94
大阪市	16.50	19.30	32.69	39.78	49.39	9.37	149.73	21.98	52.80
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
女子	15.58	17.05	36.05	38.58	42.79	9.36	152.37	17.63	56.21
大阪市	16.06	18.33	37.25	37.99	39.25	9.63	142.67	13.71	54.45
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90

## 結果の概要

### 【体力合計点について】

- ・男子は、大阪市平均を2.86ポイント、全国平均を4.27ポイントいずれも下回っている。
- ・女子は、大阪市平均を1.76ポイント、全国平均を0.31ポイントいずれも上回っている。

### 【実技(8種目)平均について】

- ・大阪市平均と全国平均をともに上回った種目  
男子「立ち幅とび」  
女子「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」
- ・大阪市平均のみを上回った種目  
男子「20mシャトルラン」  
女子「反復横とび」

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校の子どもたちは、体育学習や休み時間の運動遊びなどを楽しみにしており、運動場から季節を問わず、子どもたちの元気な歓声が響いている。体育学習では、準備運動にBGMを取り入れたり、グループで教え合わせたりしながら、運動量を十分確保している。また、自分が取り組みたいめあてをもたせることで、体育学習を通して達成感を味わうようにしている。かけあしカードやなわとびカードなどを活用したり、休み時間に全学年でかけあしタイムを行ったりして、年間を通した体力づくりも計画的に実施している。

今年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果から、男子は1種目、女子は4種目が全国平均を上回った。特に、瞬発力を計測する「立ち幅とび」では、男女ともに全国平均を4～6ポイント上回っている。体力合計点では、女子が全国平均を上回った。一部の種目ではあるが、これまでの体力づくりの成果があらわれている。

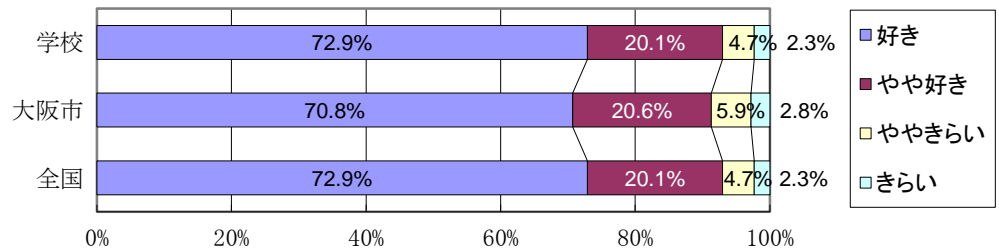
平成31年度は、校舎増築工事により運動場の活用スペースが制約されるため、子どもたちが今まで通り運動に親しむことができるように、運動する場や内容の工夫を凝らしていく。今後も、家庭・地域と連携して、子どもたちが運動に親しむ機会を増やしていく。

# 運動やスポーツについて

## 質問事項

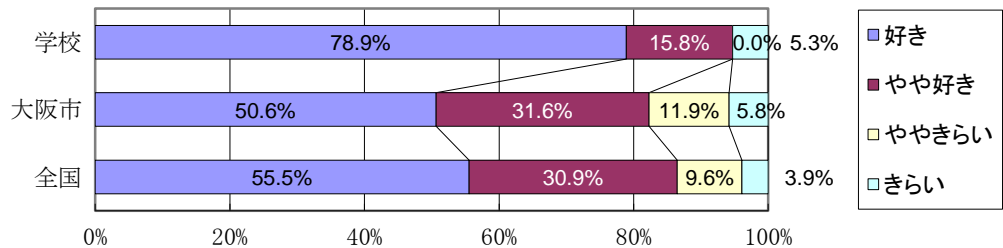
### 男子

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



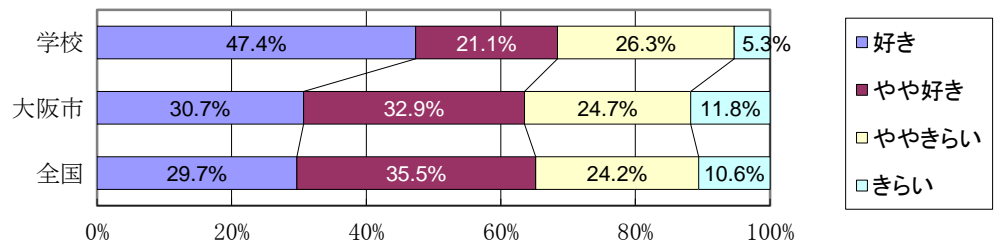
### 女子

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



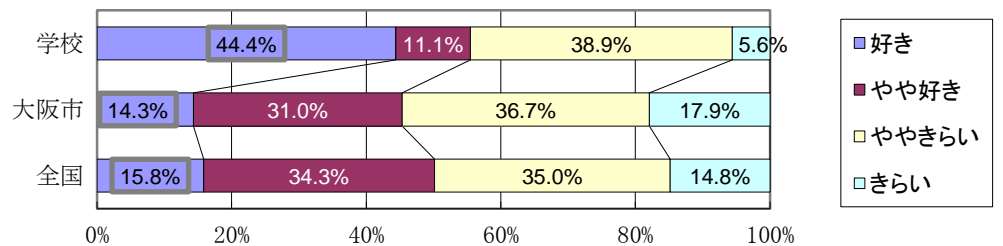
### 男子

自分の体力・運動能力に自信がありますか。



### 女子

自分の体力・運動能力に自信がありますか。



## 成果と課題

「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」への肯定的な回答は、男子が93%、女子が95%。男女ともに、大阪市平均を上回り、特に女子は全国平均を8ポイント以上も上回っている。また、「自分の体力・運動能力に自信がありますか」への肯定的な回答も、男女ともに全国平均を上回っている。これらの結果をさらに体力づくりに生かしたい。

## 今後の取組

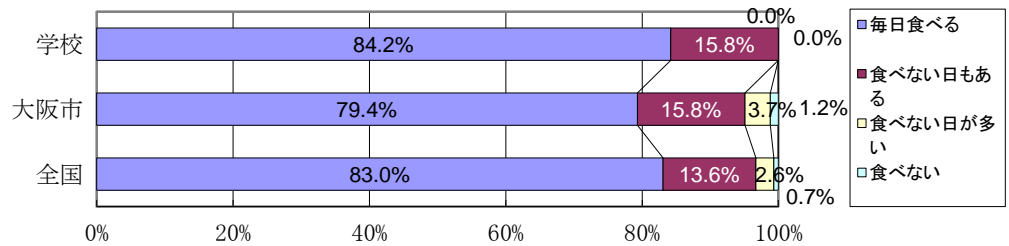
今後も、体育学習や運動遊びなどを継続して行い、授業時間以外でも運動やスポーツに親しませていく。体力・運動能力に自信を持つ児童をさらに増やすため、グループでの学び合いや教え合いなどの場を工夫していく。

# ふだんの生活について

## 質問事項

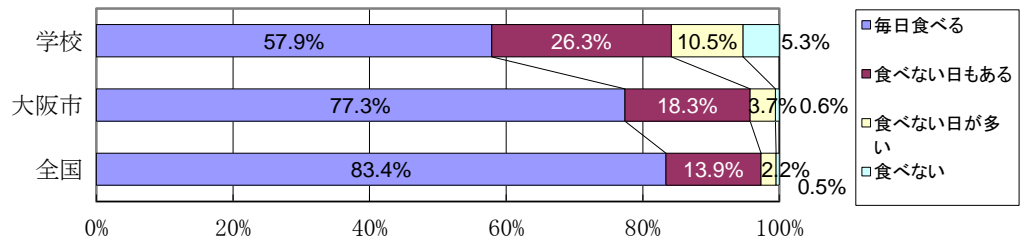
### 男子

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含めます)



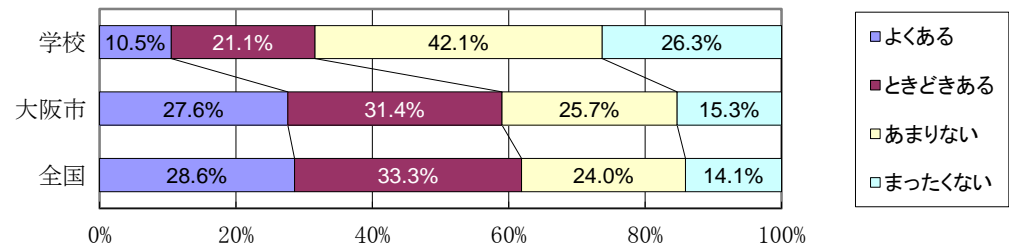
### 女子

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含めます)



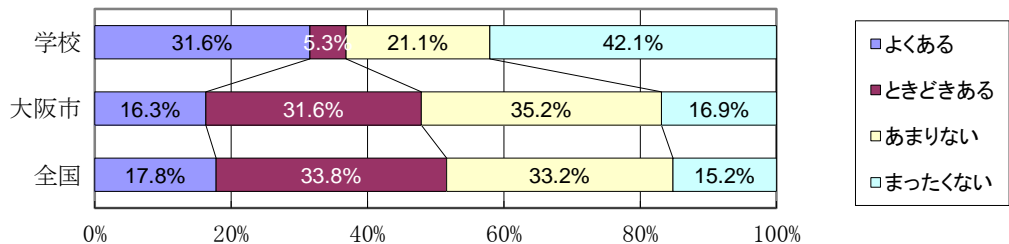
### 男子

家の人から運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツを積極的に行うことをすすめられることがありますか。



### 女子

家の人から運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツを積極的に行うことをすすめられることがありますか。



## 成果と課題

「朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含めます)」への肯定的な回答は、男子が100%、女子が84%。男子は良好な結果であるが、女子は、「食べない」の率が全国平均の10倍以上である。「家の人から運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツを積極的に行うことをすすめられることがありますか。」への肯定的な回答は、男子が32%、女子が37%で、大阪市および全国平均を大きく下回っている。子どもたちの健全な食生活や体力づくり、健康づくりのためには、家庭の協力が不可欠である。

## 今後の取組

女子の朝食喫食率を向上させるため、食の大切さをさらに指導し、理解をすすめていく。同時に、家庭に向けての啓発をすすめる。また、家庭からも運動やスポーツを積極的にすすめたり、さまざまなスポーツイベントやスポーツ鑑賞に家族ぐるみで参加したりできるよう、情報発信を行う。

# 体育の授業について

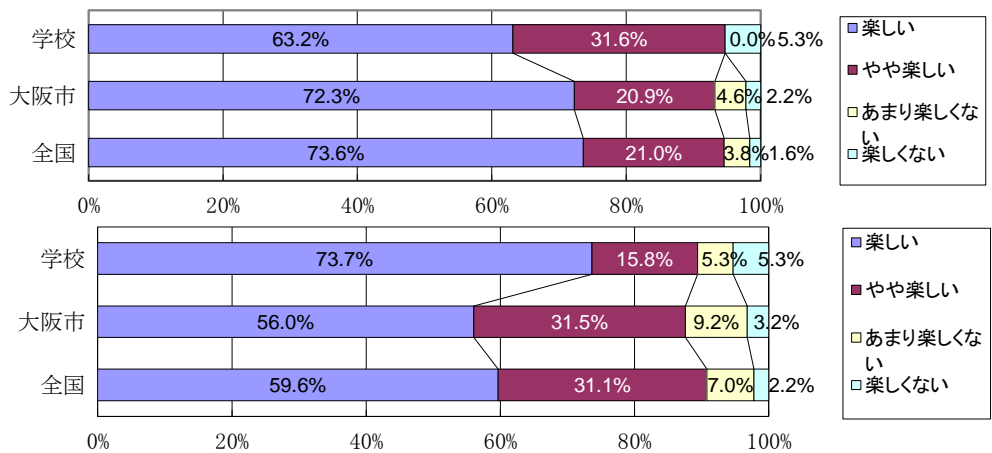
## 質問事項

### 男子

体育の授業は楽しいですか

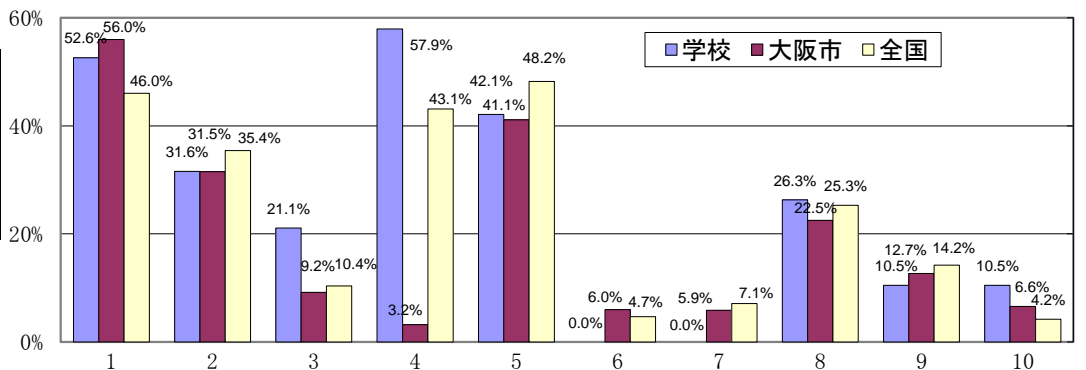
### 女子

体育の授業は楽しいですか



### 男子

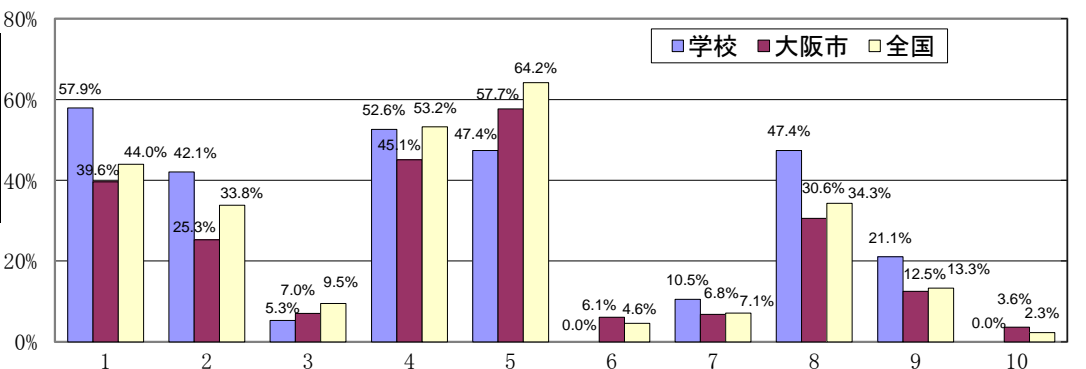
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

### 女子

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

## 成果と課題

「体育の授業は楽しいですか」への肯定的な回答は、男子が95%、女子が90%。男子は、全国平均を上回り、女子は大阪市平均を上回っている。また、「これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか」の回答で最も多かったのは、男子は「先生や友達のまねをしてみた」、女子は「授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」である。教員の的確な指導が一定の成果をあげている。一方で、「楽しくない」とする児童もおり、運動嫌いを減らしていく。

## 今後の取組

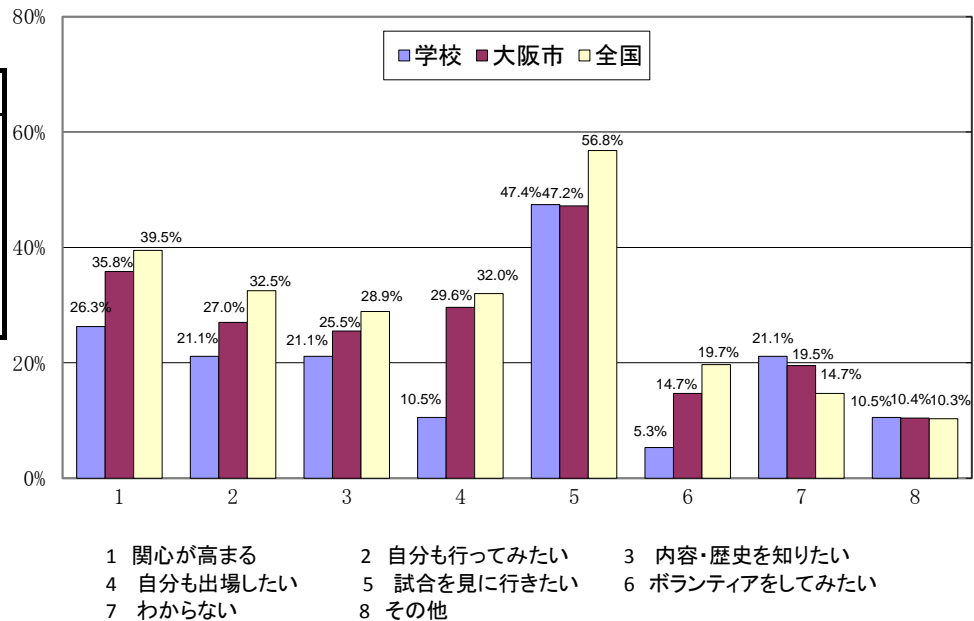
運動が好きな子どもを増やすため、個別指導や子どもどうしの教え合いをさらにすすめていく。

## その他

### 質問事項

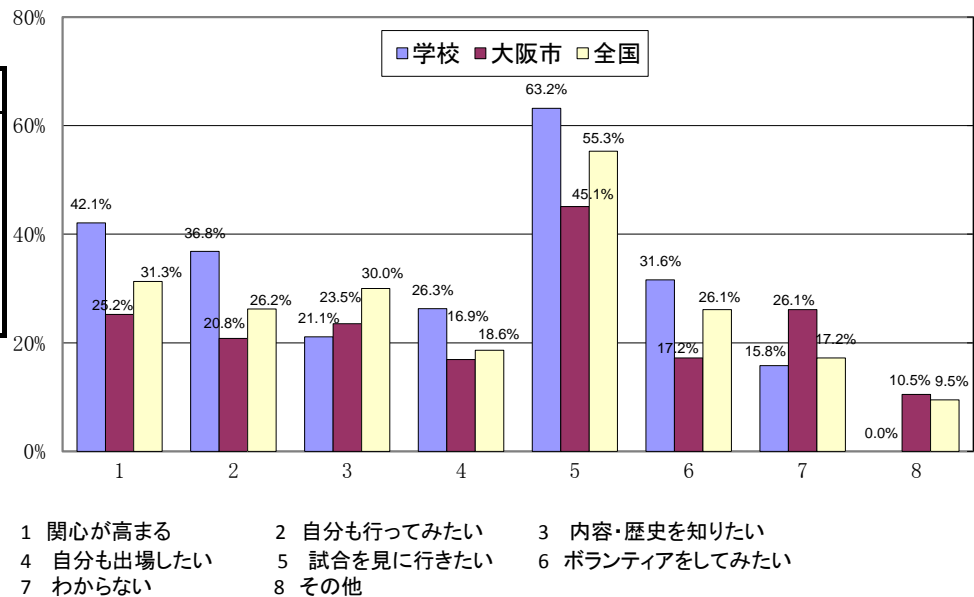
#### 男子

オリンピック・パラリンピック  
への気持ち



#### 女子

オリンピック・パラリンピック  
への気持ち



### 成果と課題

「オリンピック・パラリンピックへの気持ち」の回答で最も多かったのは、男女ともに「試合を見に行きたい」続いて、「関心が高まる」である。全国平均を上回った回答は、男子は「わからない」、女子は「試合を見に行きたい」「関心が高まる」「自分も行ってみたい」「自分も出場したい」「ボランティアをしてみたい」である。男女とも、関心が高まっており、今後さらに情報を提供して、関心・意欲を高めていきたい。

### 今後の取組

男子で最も多い回答が「わからない」であることから、大会の意義やさまざまな種目を紹介したり、実際にプロスポーツ選手と交流する機会を設けたりして、関心を高めていく。女子は、比較的関心が高いため、さらに積極的に参画する意識を持たせていく。